



第70回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会



2014年8月28日(木)～8月31日(日)

トラック競技：伊豆ベロドローム(周長250m) ロード競技：日本CSC 5kmサーキットコース

主催：日本学生自転車競技連盟 / 共催：(公財)日本自転車競技連盟 / 運営協力：東京都自転車競技連盟 静岡県自転車競技連盟
協賛：(公財)JKA (公財)日本自転車競技会 (社)全国競輪施行者協議会 (一社)日本競輪選手会
株式会社パールイズミ プリヂェンサイクル株式会社 セイコタイムシステムズ株式会社 株式会社日直商会

Communique-7

2014年8月15日

チーフコミッサー 大島 環

トラック競技に関すること

1. トラック チーム役員登録書および正選手届

- 監督会議終了時に、「[トラック チーム役員登録書](#)」をセクレタリーへ提出すること。
- 番組開始の1時間前に、団体種目(4km チームパーシュート/チームスプリント)は「[出走選手届](#)」を、個人種目においての補欠起用に関しては「[補欠選手起用届](#)」をセクレタリーへ提出すること。

2. 召集について

- 召集は全種目の最初のラウンドのみで行う。この召集はチーム員等代理の者でも可とする。バイクチェックはすべての種目のすべてのラウンドで行う。選手本人が走る姿(ユニフォーム・ゼッケン・ヘルメット着用、自転車持参)で参集のこと。バイクチェック後のポジション変更は認められない。

3. パーシュートまたはタイムトライアル種目

- スタートしてそれが正しく行われたと認められたなら、コーチとして1名だけがそこに留まることができるが、軽率な応援身振りなどは一切認められない。(2014JCF 規則第59条)
- 現行のUCI規則ではチームパーシュート、チームスプリントのスタートは共に「横1列のみ」であるが、告知が十分でないため、「スタートラインに対して45度の斜め線上に並ぶ」ことも可とする。ただし、その側方間隔はチームパーシュートは1m、チームスプリントは1.5mとする。

4. スプリント

- 1/4決勝は、1回戦制で行う。

5. タンデム・スプリント

- 予選は、6周を周回する内の最後の1周(250m)を計時する。また、対戦に入ってから6周回で行う。
- 1/4決勝、5-8位決定予選、7-8位決定戦、5-6位決定戦は、1回戦制で行う。

6. ケイリン

- 1/2決勝から各組上位3名が決勝へ、下位3名は7～12位決定戦に進出できる。

7. ポイントレース

- 男子ポイントレース
 - [参加申込者数がトラックの許容人数を超えた為、予選を2組\(10km\)で行う。なお、各組上位8名が決勝\(40km\)に進出する。](#)
- 女子ポイントレース
 - 距離 [20km \(80周回\)](#) で行う。
- 男女共通
 - 専用のボディーナンバー、フレームプレートを着用して行う。フレームプレートは、フレーム前方の中央に装着すること。
 - 各組終了後は速やかにボディーナンバー、フレームプレートを返却の事。

8. 表彰式

- チームユニフォーム着用の事。サングラス・帽子の着用、サンダル履きは禁止する。

9. ボディーナンバーについて

- トラック用のボディーナンバーとロード用のボディーナンバーは番号が違うので注意すること。
- トラック競技最終日にボディーナンバーは必ず返却すること。

(参照) こちらから以下の書式をダウンロードできます。リンクをクリックしてください。

[トラック チーム役員登録書](#) (Excel形式) / [出走選手届](#) (Excel形式) / [補欠選手起用届](#) (Excel形式)

緊急連絡先：学連携帯 (080-4176-2369)



レースの結果はホームページでも公開しています。 <http://www.remus.dti.ne.jp/~jicf/>



第70回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会



2014年8月28日(木)～8月31日(日)

トラック競技：伊豆ベロドローム(周長250m) ロード競技：日本CSC 5kmサーキットコース

主催：日本学生自転車競技連盟 / 共催：(公財)日本自転車競技連盟 / 運営協力：東京都自転車競技連盟 静岡県自転車競技連盟
協賛：(公財)JKA (公財)日本自転車競技会 (社)全国競輪施行者協議会 (一社)日本競輪選手会
株式会社パールイズミ プリヂェストンサイクル株式会社 セイコータイムシステムズ株式会社 株式会社日直商会

Communique-8

2014年8月15日

チーフコミッサー 大島 環

ロード競技に関すること

1. チーム役員リストの提出

- 監督会議終了時に、ロード チーム役員・選手登録証をセクレタリーへ提出すること。

2. サイン・バイクチェック

- サインシートの署名は、スタートライン近傍に於いて、男女とも7:15～7:45に行います。必ず走る姿(ユニフォーム・ヘルメット着用、自転車持参)で参集のこと。

3. 飲食料補給

- 男子は7周回目完了時(スタート後約35km)から27周回目完了時(スタート後約135km)、女子は6周回目完了時(スタート後約30km)から11周回目完了時(スタート後約55km)までとする。
- 補給はスタート/フィニッシュ地点手前の指定補給区間にて右側からのみ認める。補給区間の開始・終了地点は当日現場にて表示する。
- 補給区間に立ち入ることができるのは、チーム役員リストに記載され、かつIDカードを着用し、下記の人数を満たす者に限る。
 - 選手1～4名⇒2名、選手5～6名⇒3名、選手7～8名⇒4名
 - 男女共にエントリーしているチームは、男女何れかの選手数の多い方の補給スタッフ人数を上限とする。

4. ゴミについて

- 補給区間においてチーム役員が拾う場合のみ、空ボトル・包装物等を地面に落とすことができる。それ以外の場所におけるゴミのポイ捨てには1回3,000円のペナルティーを科す。

5. 共通器材(車輪)について

- 共通器材車に搭載するホイールは主催者にて用意するが、各自の用意した車輪を共通器材車に載せることを希望する学校は、
 - 状況により他の競技者により使用されることがあり得ること。
 - 共通器材車に載せられた車輪が供出者本人に必ずしも渡ることは保証されないことを了承のうえ、学校名を明記し、スタート30分前までに、サインシート台付近まで持参のこと。なお、原則として器材の交換は、左側に停車して行うこと。

6. チームによる器材の交換

- 事前に登録したチーム役員のみにより、補給ゾーン手前に指定したエリア内で右側からのみ認める。

8. レース中に失格になった場合

- 原則、先頭選手から7分遅れの選手は失格となる。
- レースの途中で失格となった選手は、安全な場所で一旦停止し、腰ボディーナンバーを自分ではずして自力で戻すことを原則とする。コースの逆走は認められない。フレームプレートはレース終了まで外してはならない。自ら途中棄権した競技者は、フィニッシュ地点の審判員に棄権したことを申告のこと。

9. 表彰式

- 伊豆ベロドローム：フィールド内(開会式と同じ場所)で行う。
- 帽子、ヘアバンド、サングラスの着用、サンダル履きは認められない。

10. その他

- ボディーナンバーおよびフレームプレートは大会終了後に大会本部まで返却すること。ボディーナンバー、フレームプレートの紛失、又は大会終了日に返却できなかった者には、1点につき1,000円のペナルティーを課す。

(参照) こちらから以下の書式をダウンロードできます。リンクをクリックしてください。

[ロード チーム役員・選手登録証](#) (Word形式)

緊急連絡先：学連携帯(080-4176-2369)